

WAMは福祉と医療の民間活動を応援します

平成30年7月3日  
独立行政法人福祉医療機構  
経営サポートセンター長 須田 哲  
経営サポートセンター リサーチグループ  
グループリーダー 川森 大輔  
担当 関・小寺 (電話) 03-3438-9932  
(FAX) 03-3438-0371

## 社会福祉法人経営動向調査（平成30年6月）の結果について

独立行政法人福祉医療機構では、四半期毎（3月、6月、9月、12月）に社会福祉法人経営動向調査を実施しています。今回は平成30年6月に実施した本調査の結果についてご報告します。  
詳細はホームページ (<http://www.wam.go.jp/hp/guide-keiei-survey-tabid-2274/>) に掲載しております。

### 1. 調査の概要

- 対象：特別養護老人ホームを運営する社会福祉法人 497 法人
- 調査事項：
  - 社会福祉法人および特別養護老人ホームの業況、資金繰り、従事者数等に関する現在の状況と3ヶ月後の先行き予測
  - 新卒及び中途者の採用状況
  - ICT機器等の導入状況
- 回答数：482
- 有効回答数：482
- 有効回答率：97.0%
- 実施期間：平成30年6月1日（金）～平成30年6月19日（火）
- 実施方法：Web上で実施
- 集計方法：DI（景気変動を判断するための指標。各項目の第1選択肢の回答割合から第3選択肢の回答割合を差し引いて算出）に加工・集計して公表

### 2. 調査の結果

#### 【職員の採用状況】

- 社会福祉法人全体で今年度に採用した新卒者は平均3.9人と前年度の4.4人から0.5人減少した
- 特別養護老人ホームにおいて今年度に採用した新卒者は平均1.4人、うち介護職員は1.3人だった  
前年度と比較すると新卒者は0.2人、介護職員は0.1人減少した

#### 【特別養護老人ホームにおける ICT 機器の導入状況等】

- ICT機器等\*を導入していない施設は約4割あった。導入している施設において導入実績が多かったものとしては「タブレット端末」「見守り機器」があり、全体の約3割の施設で導入していた  
\*今次調査において対象とした ICT 機器・ロボット
- 導入してよかったものとしては「タブレット端末」「見守り機器」「ロボット（移譲介助・非装着型）」等があり、その理由としては「業務の効率化」や「事故防止」、「職員の負担軽減」などが挙げられた

#### 【社会福祉法人の動向】

- 業況のDIは、前回調査より7%ポイント増加し、6となった
- サービス活動収益のDIは、前回調査より12%ポイント増加し、0となった
- サービス活動増減差額のDIは、前回調査より10%ポイント増加し、△8となった
- サービス活動増減差額（黒字・赤字）のDIは、前回調査より4%ポイント増加し、24となった
- 資金繰りのDIは、前回調査より4%ポイント増加し、△3となった
- 従業員数のDIは、前回調査より5%ポイント増加し、△67となった

#### 【特別養護老人ホームの動向】

- サービス活動収益のDIは、前回調査より10%ポイント増加し、△0となった
- サービス活動増減差額のDIは、前回調査より7%ポイント増加し、△7となった
- サービス活動増減差額（黒字・赤字）のDIは、前回調査より3%ポイント増加し、20となった
- 施設全体の従業員数のDIは、前回調査より6%ポイント増加し、△63となった
- 介護職員の確保のDIは、前回調査より2%ポイント増加し、△87となった
- 人件費のDIは、前回調査と同じ△47だった
- 稼働率のDIは、前回調査と同じ△12だった
- 他施設との競合のDIは、前回調査と同じ△34だった
- 待機者のDIは、前回調査と同じ△23だった